

光合成の飽和曲線

ハイキングなどで日当たりのよい草原の中を歩いていると、イネ科の草が細長い葉を斜め上方に向けて出しているのをよく見かけます。一方、道がうっそうと茂った森の中に入っていくと、暗い林床には、地面に平行な葉をつけた植物が多く観察されます。明るい環境と暗い環境に育つ植物の、このような葉のつけ方の差は、実は、入射する光量に対する光合成速度のグラフ、すなわち光-光合成曲線によって説明できるのですが、その理屈がわかりますか。・・・